

平成23年11月1日発行

会員各位

協会だよりー227(11月号)

JCRA(Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

<トピックス>

- 第211回月例会(一泊研修会)
 - 日時:平成23年11月18日(金)~19日(土)
 - 見学先:JX金属三日市リサイクル株式会社(富山県黒部市)



小淵観音院(埼玉県春日部市)の仁王門。元禄2年(1688年)の建立といわれています。3.11の大震災で建物がゆがみ、取り壊し寸前の様相です。境内に芭蕉の句碑があります。

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 第二〇回月例会(見学会)が終わって
【予定事項】
- 三. 経産省よりの連絡
- 四. 事務局より(十一月度の予定)
- 五. 【雑学】奥の細道・バスツアー(第二回)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー226(10月号)をメール&郵便で送信(10/1)
- ② 第212回月例会幹事会
日時:10月14日(金)16時から17時
場所:協会事務局(新橋)
議題:第212回月例会(平成24年2月開催予定)
- ③ 第210回月例会(見学会)
日時:10月18日(火)13時~
見学先:浮島太陽光発電所・川崎エコ暮らし未来館(川崎市川崎区浮島町)
懇親会:キリン横浜工場・ピアビレッジ内レストラン「ピアポート」

④ 第二回役員会

日時：10月20日（木）10時から12時

場所：(株)徳力本店会議室（神田）

議題：第37回定期総会の準備、役員改選（総会は平成24年4月開催予定）

【予定事項】

① 第五回運営委員会

日時：11月10日（木）15時30分～17時30分

場所：堺化学工業(株)会議室（岩本町）

議題：第211回月例会（一泊研修会）の直前準備、来期の運営委員会体制の検討。その他

② 第211回月例会（一泊研修会）の開催

日時：平成23年11月18日（金）～19日（土）

見学先：JX 金属三日市リサイクル株式会社（富山県黒部市）

③ 第二回調査・技術委員会

日時：11月の下旬（調整中）15時30分～17時00分

場所：日興リカ(株)会議室（予定）

議題：2011年（1/1～12/31）の資源化実績の取り纏め、委員の役割分担等、来期の委員会体制の検討。その他

2. 第210回月例会（見学会）が終わって

今年度、二回目の月例会は10月18日（火）無事終了いたしました。今回の参加者は43名とバスの座席がほぼ満席となる状態で盛況となりました。8月6日の約2ヶ月前に開場したかわさきエコ暮らし未来館と浮島太陽光発電所の見学です。見学記は幹事会社の川研ファインケミカル(株)・小川芳規さんに書いて頂きましたのでご覧ください。



10月18日（火）に、かわさきエコ未来館及び浮島太陽光発電所の見学会が行われました。参加人数は43名で、JR川崎駅よりバスで移動し、まずは、かわさきエコ暮らし未来館を見学しました。かわさきエコ暮らし未来館は、2011年8月6日にオープンしたばかりで、地球環境や川崎の環境について体験しながら学ぶことができる新しい施設です。本来は、小・中学生を対象とした施設とのことで、案内のお姉さんも少々戸惑い気味ではありましたが、丁寧な説明と、映像や光、タッチパネルなどを利用した展示物はいずれも興味深いものでありました。カードを使っ

た身の回りのエコ探しや、タッチパネル上でごみをゲーム感覚で分別するコーナーなど、楽しみながら地球温暖化や、再生可能エネルギー、ごみなどの資源循環について知ることができました。大人でも十分満足できる施設であったと思います。

続いて、資源化处理施設に移動して、ミックスペーパー（雑紙）とプラスチックごみの分別の作業を見学しました。資源化处理施設は、2011年3月からの稼働で、分別収集されたミックスペーパーとプラスチックごみを、資源物と不適物にて選別し、資源物を圧縮梱包する施設です。ミックスペーパー、プラスチックごみとも、作業室は非常にきれいで、ごみの分別のイメージからは想像がつかない感じでしたが、実際の作業は、2~3名の作業員の方が、ベルトコンベアーに流れるごみを手作業で分別しており、大変な作業だと思われます。ミックスペーパーは川崎市の全域からの収集で30トン/日、プラスチックごみは一部地域のみ収集で13トン/日の処理を行っているとのことでした。



第210回例会（見学会）参加の皆様（43名）

最後に、資源化处理施設屋上より浮島太陽光発電所を見学しました。浮島太陽光発電所は、東京電力と川崎市の共同事業であるメガソーラー事業によるもので、敷地面積約11haの施設内に、約38,000枚の太陽電池を敷き詰め、最大出力7,000kW、推定発電量年間約740万kwの電力を生み出す施設であり、今年の8月より稼働を開始しています。メガソーラー事業は、浮島の他に扇島地区でも建設が進められており、こちらは12月の稼働開始になるとのことです。浮島ではシャープの単結晶パネルを使用し、建設は東芝が担当、扇島では京セラの多結晶パネルを使用し、建設は日立製作所が担当しています。浮島、扇島双方合わせて合計出力約2万kW、一般家庭約5,900軒分の年間使用電力を賄う予定とのことでした。発電量自体は川崎市全世帯の1%程度と少ない量ですが、CO₂削減や、ごみの焼却灰の埋め立て地の有効利用、また昨今の再生可能エネルギーへの転換といった意味合いからも重要な施設であると感じました。（記：小川芳則）

3. 経産省よりの連絡

- 10/19【お知らせ】平成23年度地域別最低賃金改定
- 10/19【お知らせ】情報セキュリティ対策の強化について（第27回情報セキュリティ政策会議決定）
- 10/24 12月1日（木）緊急地震速報訓練への参加のお願い及び訓練への参加状況の調査について
- 10/26【お知らせ】今夏の電力需給対策結果及び今冬の対策の検討について

4. 事務局より (11月度の予定)

曜日	月	火	水	木	金	土
1週	10/31	1	2	3	4	5
	×	○	×	文化の日	○	×
2週	7	8	9	10	11	12
	×	○	×	運営委員会	○	×
3週	14	15	16	17	18	19
	×	○	×	○	211月例会	⇒
4週	21	22	23	24	25	26
	×	○	勤労感謝の日	×	○	×
5週	28	29	30	12/1	12/2	12/3
	×	○	○	○	×	×

事務局延べ出勤予定：13日 (○；終日、△；半日、×は休日)。

5. 【雑学】奥の細道・バスツアー (第二回) Part 1.

10月19日、Nトラベル社の歴史探訪「奥の細道」バスツアー第二回に参加しました。テーマは日光街道を歩く。埼玉県草加市～栃木県栃木市総社となっています。ツアーの参加者は30名くらい、殆どがご老体の皆様ですが結構健脚ぞろいです。バスは一路、草加市に向かいます。一時間ほどで札幌河岸公園(草加市神明)に着きました。ここは草加市が綾瀬川沿いに1.5kmほどの松並木を整備し遊歩道を作ったところです。ここには草加に縁のある正岡子規の句碑(梅を見て野を見て行きぬ草加まで) 高浜虚子の句碑(順礼や草加あたりを帰る雁)があります。しかし本題は芭蕉さんなので、他は省略します。旧日光街道と国道4号の接する交差点には、芭蕉に随行した曾良の像があり、公園内には芭蕉旅立ちの像があります。



曾良の像 (草加市)



芭蕉旅立ちの像 (草加市)

草加松原の遊歩道は、ウォーキングの皆さん、自転車の通行と多くの人々の通過する場所で、散歩の拠点の様子であった。奥の細道では最初一泊を草加でしたことになっていますが、曾良旅日

記によると実際は粕壁（春日部）に一泊したのが正しいようです。



松原の遊歩道（平日なのに人が多い）車道を越えるための歩道橋（矢立橋）この手前には百代橋がありどちらも太鼓橋です。

遊歩道最後の外郭環状道路の下を潜った先に草加とおくのほそ道と書かれた壁絵があります。これはタイルに絵を書き、焼き付けた後、張り合わせたものと思われる。



東陽寺（春日部）にある、二十七日夜カスカベに泊ル江戸より九里余と記した石碑。宿泊の殆どは神社、仏閣といわれていますが、ここの確認は無い様です。



トップページの小湊観音院（正式名称、小湊山正賢寺）・仁王門の写真はこのとき写したものです。芭蕉一行はここに泊ったともいわれており、境内にある句碑には「ものいえば唇寒し秋の風」の句が記されています。芭蕉さんを意識してか、境内の庭には芭蕉の木が生い茂っていました。ここで午前中の見学は終了して、一路4号線を下り、昼食場所の古河市のホテル SANSUI に向かいます。

【余談】テレビ東京の番組に愛川欽也の「出没・アド街ック天国」というのがあり、11月19日放送予定の古河市の中で、山水での我々の昼食状態が録画されましたが放映ははたして？



古河市のホテル山水内レストラン杉並（昼食）アドマチで放映されるか？

午後は野木町にある野木神社に向かいます。ここはおおよそ千六百年前、仁徳天皇の時代に建立されたそうです。鬱蒼とした樹木が茂り、歴史が偲ばれる境内となっています。樹齢千二百年の大銀杏があり、とちぎ名木100選に選ばれています。



境内の塚には「一疋の はね馬もなし 河千鳥」と刻まれています。第二回の旅はまだ小山市、栃木市と続きますが、今回は Part 1 として、ここまでと致します。

【文責・専務理事】